



白松高等学校

令和2年度

青山中学校だより 冬休み直前号

令和2年12月23日

じ しゅ かん がく

充実の2学期にできました

例年より早く始まった長い2学期も、今日で終業式を迎えます。新型コロナウイルス感染拡大防止のために様々な制約の中での学校生活でしたが、振り返ってみると充実した学期にできたと思います。集中して取り組んだ日々の学習、盛り上がった青山祭、2年生はマイチャレンジを通して、仲間との絆を深めることができました。青中生一人一人が、2学期の成果を確認し、課題を見つけ、次につなげていってほしいと思います。新型コロナウイルスは未だ衰える気配がありません。明日からの冬休みは、規則正しい生活を心がけ、免疫力を高め、コロナやインフルエンザに負けないよう、健康管理には十分注意を払ってください。そして、3学期にむけてのエネルギーをしっかりと蓄えましょう。3学期は年度のまとめの期間であるとともに、新しいステージへの準備期間でもあります。特に3年生にとっては勝負の時になります。心と体を整える冬休みの過ごし方を考え実践しましょう。3学期開始の1月7日、元気で自信にあふれた表情の青中生に会えることを楽しみにしています。

よいお年を お迎えください



各学年代表の「2学期を振り返って」

2学期までを過ごして

色々なことが例年通りの姿ではなかった今年。私には、そんな時期だからこそ気付けた、見つけれられたものが沢山あります。その中で特に私が素晴らしいと思ったものを三つ紹介します。

まず一つ目は、思いやりです。新型コロナウイルスの影響で、外出自粛やマスクの着用を余儀なくされる中、公共交通機関等、人が多く集まる場所では、体の不自由な方やお年寄りを気遣う言葉や行動を見かけることができました。それらは学校でも見ることができました。体調の優れない人を支え、声を掛ける保健委員の人、色々なキャンペーンや強化週間で学年全体の活気を取り戻す活動をする学年運営委員のみんな、校内の清潔さを保っている掃除当番や環境美化委員の人、それ以外にも大勢の思いやりが詰まっていました。

二つ目は、雰囲気です。もう少し違う言い方をするのなら、それはムードです。自粛期間中には友人と会う機会はどうしても少なくなってしまったと思います。自粛期間が終わり、学校が再開しても外出を控えるような風潮があり、あまり学校以外では人と接することもなく、寂しい日が続いたと思います。そんな中だからこそ、気分を上げてくれるような人がいたと思います。周りを見てみて下さい。一緒に居るだけで笑顔にしてくれる人や、笑わせてくれる人がきっといることでしょう。その人を中心に、周りも次第に楽しくなっていく。そんな雰囲気やムードに、私は心を動かされました。

最後は、愛です。これは私がこのスピーチで一番伝えたいことでもあります。私も含めて皆さんの今の何気ない生活は、自分の力だけで積み上げたものでしょうか。少なくとも誰かに支えられているのではないのでしょうか。家族であったり、先生であったり、友達、知り合い、また、全く知らない誰かかもしれませぬ。そういった「支え」こそ愛の塊なのだと思います。今、自分がこうして終業式でスピーチができているのも、先生方や聞いて下さっている皆さんのおかげです。私自身、愛を伝えることは難しいですが、こんなご時世だからこそ状況を理解して、きちんと想いを届けていきたいと思っています。

冬休みに入るとすぐに年末です。何かと楽しい行事が多いですが、適度に楽しんで、しっかりと勉強にも励み、力溢れる年明け、新学期を迎えたいです。



2学期を振り返って

長かった2学期が今日で終わります。私は2学期に多くの達成感や思い出を得ることができました。なぜなら、「今までとはちがう自分」を目標にして、いろいろなことに挑戦してきたからです。たとえ失敗しても、必ず自分の力になると思い、努力しました。

まずは、青山祭の有志発表への挑戦です。私は南京玉すだれを披露することにしましたが、やはり恥ずかしくて少し後悔したこともありましたが、練習を重ねたことも、緊張したことも、舞台に立って発表できたと思うと誇らしく、達成感がありました。

次に、マイチャレンジ実行委員への挑戦です。25kmもの長い距離を歩く行事です。どうすればより楽しく、いいものにできるか、委員のみんなで協力して考えました。昼放課も実行委員の活動で忙しい毎日でしたが、当日は企画した自分はもちろん、周りのみんなにも楽しんでもらえて、本当にうれしかったです。コロナ禍で行事が少ない中、やり遂げた達成感はもちろんですが、仲間のすばらしさを感じられる行事となり、大切な思い出になりました。

最後に、学級三役と美術部部长への挑戦です。この役割は務める期間も長く、大きな責任を伴うものです。自分が務められるか、役に立てるかという不安もありました。けれど選ばれたことのうれしさが勝り、やる気がどんどんわいてきました。今では、学級三役になって、クラスを良くするための提案をしたり、実行したりできるうれしさとやりがいを感じています。また、部長になったことで、周りの様子を見渡したり、みんなの声に耳を傾けたりすることが得意になってきた気がします。また、短くなった活動時間をどれだけ有効に使うかを意識するようになり、前よりもさらに部活動が楽しくて好きになりました。

多くの挑戦で得た様々な達成感は、自ら努力することで、自分だけでなく周りもよくしていけるという自信になりました。そして、多くの思い出から、仲間との絆を大切にしたいという意欲が生まれました。

2年生もあと少しですが、3年生につなげていけるよう、これからも新たな挑戦を続けていきます。



2学期を振り返って

私は、後悔が残らないような行動をとることを意識して、この2学期を過ごしてきました。それは、残りの中学校生活を、より充実したものにしたいと思ったからです。このことを意識して過ごしていく中で、私は多くのことを学ぶことができました。

一つ目は、努力することの大切さです。自分が頑張った分だけちゃんと自分にいい形で返ってくると信じて、勉強を頑張ってきました。途中、何度も諦めかけたこともありましたが、少しずつ結果が出てくるようになりました。暗記は静かな部屋でする、年号は語呂合わせで覚えるなど、自分に合った勉強方法を見つけたことで、点数が上がるようになりました。また、自分が集中できる朝に勉強したり、休憩時間に体を動かしたりなどの工夫もしました。

二つ目は、仲間やライバルがいることのありがたさです。テストに向けて勉強をしていく中で、互いに教え合うことができたり、「あの子には負けないぞ。」という意識が出てきたりしました。共に高め合える仲間がいることで、自分一人では何かやろうとするとより、よりよい成果を得ることができると思います。互いに切磋琢磨し合えるところが、私たちの学年の良いところだと、この2学期を通してあらためて感じました。

第3学年は、どんなときでも前向きで、周りの人を笑顔にできる明るさがあります。3学期は、今まで以上に受験を意識する毎日になるとと思いますが、「明るく前向きである」という学年の良さを大切にしながら、メリハリのある生活を心がけ、残り少ない学校生活を心に残るものにしていきましょう。



お知らせとお願い

- ① 各学年、2学期の会計報告は、3学期の初めに配付させていただきます。
- ② 12月29日～1月3日は学校閉校となります。学校の電話が留守番電話となりますので、緊急を要する場合は、内容に応じて警察(110)、救急(119)、学校教育課(0569-84-0688)へ連絡をお願いします。